

ビジョンを語る会（第1回中播磨地域デザイン会議） 主な意見

- ・ 県内唯一の世界遺産である姫路城があることで、副産物（姫路城とのコラボ商品等）等の波及効果がある
- ・ 文化の継承（祖父から魚の捕り方を教わる等）が残っているのが中播磨地域の良さ
- ・ テクノロジーばかりが注目されるが、アナログだからこそその価値がある
- ・ 大消費地・姫路の周辺に農村地域があり、地産地消ができる
- ・ 県中央部に位置しており、神戸や但馬など県内各地へのアクセスが良い
- ・ 姫路城が有名すぎて、他が目立たない（姫路城中心の観光プランや公共交通アクセス）
- ・ 地域によって公共交通網に差がある（車社会のため、車がないと不便）
- ・ 中途半端な都会であり、住民がコンプレックスを抱いている（神戸・大阪への憧れ）
- ・ ポイ捨てによるゴミが多い（住民によるゴミ、観光客によるゴミ）
- ・ 自然が豊かで景観が良い地域も都会の倉庫になりつつある
- ・ 地域住民同士の交流が少なく、地域間でも一体感がない（地域活動をする人とならない人の格差が広がっている）
- ・ 高校中退者を受け入れる土壌づくりが必要（教師のマンパワー不足を地域でカバー）
- ・ チャレンジしワクワクしている大人や、刺激、学びが都市部に比べて少ない（住むことや働くことにワクワクできる環境づくりが必要）
- ・ 田舎から起業家をどんどん輩出し、中播磨地域を元気に
- ・ 周りの目を気にせず自由に行動でき、周りの人もそれを当然のことと受け入れるまちづくりが大事